

## ▼農業水利施設保全補修工法

### テストバンド工法 (エアー式テストバンド工法)

#### 《工法の種類》

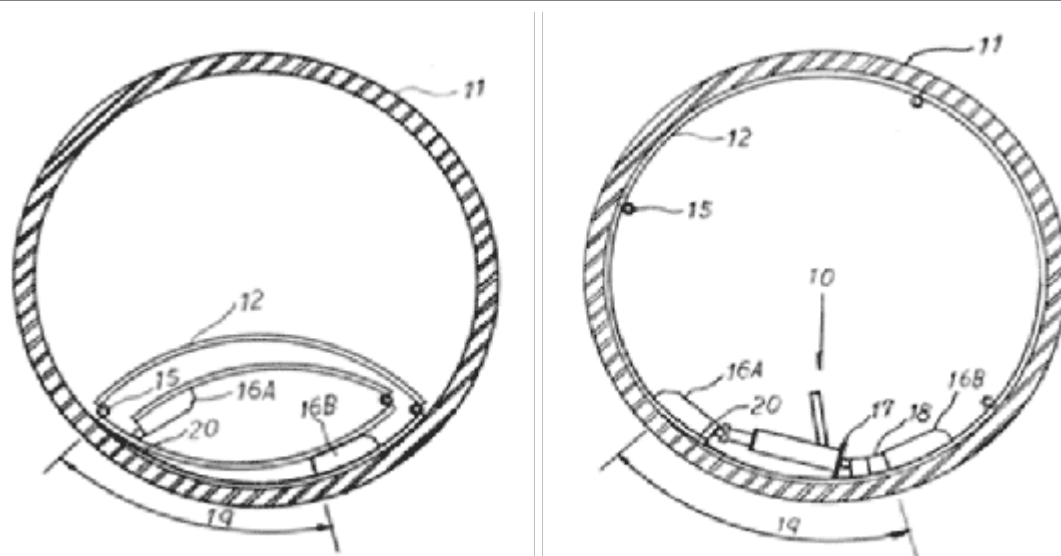
- ・パイプライン調査方法 (パイプライン継手部のエアー式水密性調査方法)

#### 《技術内容》

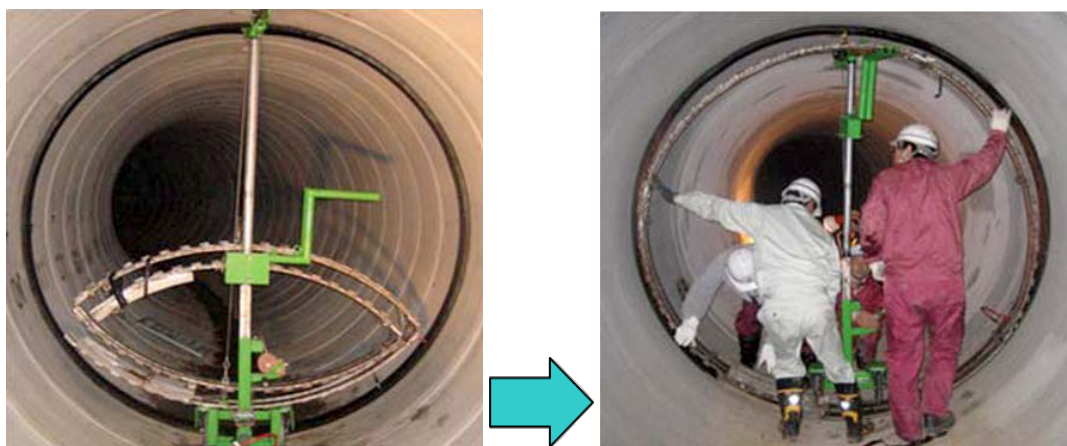


固定バンド折り畳み状態 固定バンド拡張状態

#### 《基本構造》



固定バンド折り畳み状態 固定バンド拡張状態



試験前 試験中

施工例：東海農政局 新矢作川用水農業水利事業書（サイホン部 φ2,400mm）

《特徴》

- ① 加圧流体として空気を使用することにより、試験装置の簡素化・軽量化および作業効率向上し、コスト削減・工期短縮さらに傾斜管路での試験が可能です。
- ② φ600mmのマンホールからすべての資機材の搬入・搬出が可能であり、管内での組立・解体が容易です。
- ③ 撓性管及び不撓性管での試験が可能です。
- ④ 管継ぎ手に段差や内径差があっても試験が可能です。
- ⑤ 特許登録 第4978905号

《諸元》

適用条件

- 1) 管内径φ800mm～φ3,000mmまで適用可能です。
- 2) 試験は、試験圧力0.5MPa（上限値）まで加圧し、5分間放置後の圧力低下率80%を判定基準とします。
- 3) 管路勾配は、5%までを標準試験とし、それ以上の傾斜部は別途、安全対策を行い試験可能です。
- 4) 管継ぎ手の間隔は50mm以下、継ぎ手の段差20mm以下、内径差20mm以下の条件で適用可能です。
- 5) 加圧流体は空気を使用します。
- 6) 加圧装置は、12Vバッテリーで稼働するコンプレッサーと圧力タンクユニットです。
- 7) 適用管種はPC管、FRPM管、コンクリート管、ダクタイル管、鋼管、ポリエチレン管などです。
- 6) 管内での水深が10～20mm程度でも試験可能です。（ただし、管内径の大きさによります）

《実施例》

1 水密ゴム設置

- ① 管継ぎ手を清掃
- ② 設置位置マーキング

③水密ゴムを設置



2 固定バンド設置

- ①作業台車位置決め。
- ②固定バンド拡張。
- ③油圧ジャッキ2台で固定バンドを拡張し水密ゴムを拡張圧縮。



3 加圧後げ夏測定

- ①コンプレッサーで所定圧力まで加圧。
- ②5分後の減圧を測定し継手水密性を判定。



《主な施工実施》（平成26年3月現在）

施工時期	発注者	使用サイズ
平成23年度	東海農政局	φ1,200 φ1,350 φ1,500 φ1,650 φ2,000 φ2,200
	北陸農政局	φ2,600
	水資源機構	φ1,800

	岩手県	φ1,134
	盛岡南部	φ1,200～2,000
平成24年度	関東農政局	φ1,200 φ1,350 φ1,500
	愛知県	φ1,000 φ1,350
	滋賀県	φ1,200 φ2,000
	東北農政局	φ1,650
平成25年度	愛知県	φ900 φ1,650

Copyright © 2007. Ryowa Concrete Co.,Ltd.All right reserved.